



人企企第 59 号
平成19年5月10日

国土交通省
道路局長 様

熊本県人吉市長 田 中 信 孝



中期的な計画の作成に当たって意見の提出について
(提 出)

日頃より本市道路行政に対し、ご支援、ご高配を賜り心から感謝申し上げます。

貴職から依頼のありました標記のことにつきまして、別紙のとおり提出いたします。

よろしくご査収ください。

「今後の道路政策や道路の整備・管理について」

1 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

高度成長期に作られた多くの道路構造物の高齢化が今後急速に進むと考えられるが、本市においても例外ではない。市道 631 路線総延長 412k m、橋梁 288 本総延長 4 kmの維持管理に年間約 50, 000 千円の市単独費で対応しているが、とても十分な対応ができているとはいえず、また、国から委譲された法定外公共物の維持管理に要する経費も加わり、ますます厳しい状況となっている。

今後の道路政策においては、このように増大していく維持管理に要する経費について、適切な管理を行っていくのに十分な支援を考えていただきたい。

また、通常の維持管理では対処できない、たとえば橋梁の架替えなどのように多額の経費を必要とする状況の発生も必至である。平成 19 年度から始まった「長寿命化修繕計画策定事業」は、ストックの適切な管理と住民の安全・安心の確保にとって、国地方とも厳しい財政状況の中では是非必要な政策であるといえる。

本市においても、策定に向けて準備を進める予定であるが、橋梁の安全度の確認にも多額の経費を要することから、国におかれては技術支援はもちろんのこと、計画策定の基礎となる点検調査に要する経費についても助成制度の検討をお願いしたい。

このように、現在あるストックの長寿命化を図り適切に維持管理していくための政策、そして、その上で適切な時期に大規模な改修に取り組むための強力な支援策が、地域の安全と安心の確保に繋がる重点化を進める上での特に優先度の高い政策であると考えてる。

2 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

本市の都市計画道路は、平成 19 年 4 月現在、計画延長 40.29 km、整備済延長 18.35km、整備率 45. 54%であるが、近年の社会経済情勢の変化を的確に捉

え、かつ街づくりとの整合性を図りながら、概ね 20 年後を目標とした見直しを行うことで、都市計画道路事業の選択と集中を図ることとしている。

都市計画道路の見直しにあたっては、真に必要な計画であるかどうかの検討はもちろんであるが、幅員などその地域にあった規格であるかどうかという視点も、効率化を徹底的に進める上では重要であると考ええる。

道路整備が進んだ都市部に比べて、地方においては未だ十分な整備ができていないとはいえず、都市計画道路として今後整備を進めていかなければならない部分も多いが、整備には多大な経費を要する。

国県道、市道など道路の種別を問わず、その地域にあった規格で整備を進めることが経費的にも、時間的にも、土地利用の面からも無駄のない効率的な道路整備であると考ええる。

3 その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

道路の整備に関しては、無駄な道路が造られている、道路整備はもう十分である等の批判があり、一般財源化を前提とした道路特定財源の見直しについても着々と進められているようである。

しかし、整備が進んだ都市部と違い、地方においては、まだまだ、基本的インフラとしての道路整備、たとえば生活道路や通学路などの歩道の整備など安全で安心な生活のための整備さえ立ち遅れている現状がある。

道路特定財源の必要性は、地方においてはまだ高い。都市部と格差のある地方の実情も重点化の大切なポイントであると考ええる。

また、地方における道路整備については、費用対効果など効率性の面からだけでなく、地域振興、地域格差是正も重要な観点である。効率性だけを徹底的に進めることで、地方にとって真に必要な道路整備が切り捨てられることがないように、道路政策立案の際には配慮をお願いしたい。